



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月12日 東

上場会社名 夢展望株式会社 上場取引所
 コード番号 3185 URL http://www.dreamv.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡 隆宏
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 阪田 貴郁 (TEL) 072-761-9293
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	1,019	—	△11	—	△15	—	△17	—
27年3月期第1四半期	1,566	△28.8	△67	—	△75	—	△111	—

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 △17百万円(—%) 27年3月期第1四半期 △98百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	△3.25	—
27年3月期第1四半期	△79.08	—

(注) 平成27年3月期第1四半期及び平成28年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	1,639	288	288	288	17.6
27年3月期	2,070	306	306	306	14.8

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 288百万円 27年3月期 306百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	0.00	0.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2 平成27年3月期につきましては、決算期変更により6ヶ月の変則決算となっております。

3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,078	—	△107	—	△106	—	△110	—	△20.82
通期	4,529	—	23	—	18	—	3	—	0.57

(注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2 平成27年3月期は決算期変更に伴い6ヶ月の変則決算となっておりますので、第2四半期(累計)及び通期の対前期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の2に該当するものであります。詳細は添付資料4ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

28年3月期1Q	5,304,000株	27年3月期	5,304,000株
28年3月期1Q	一株	27年3月期	一株
28年3月期1Q	5,304,000株	27年3月期1Q	1,404,000株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、平成27年3月30日に開催された臨時株主総会で、「定款一部変更の件」が承認されたことを受けて、決算期末日を9月30日から3月31日に変更致しました。このため、対前期増減率は記載しておりません。

当第1四半期連結累計期間（自平成27年4月1日至平成27年6月30日）におけるわが国経済は、継続する円安と株高により、輸出企業を中心に業績回復基調が継続する一方、中国経済の不安、ギリシャを巡る欧州債務問題など海外経済の下振れ懸念もあり、先行きの不透明感は依然として払拭しきれない状況が続いております。

当社グループが属するアパレル小売業界におきましては、競争激化が進む中、円安による仕入価格の高騰が続き、また、消費者の節約志向も依然として続いており、引き続き厳しい状況となっております。

このような市場環境の下、当社グループにおきましては、基幹事業である衣料品販売事業、特にECにおける事業の立て直しを図るため、ターゲット顧客の絞り込みによるブランド戦略の見直しを行い、“夢展望でしか買えない”商品・ブランドをメインに展開する戦略を進めております。また、比較的、競合の少ないカテゴリー商品の取扱量を増やすことにも取り組んでおります。合わせて、前期より引き続き、有名タレントのモデル起用や販売サイトのリニューアルなどにより、ブランドイメージを刷新する取り組みも推し進め、夢展望の新しい世界観のアピールも行ってまいりました。これらの取り組みにより、当社グループの商品のブランド価値向上を図り顧客満足度を高めることにより、リピート率・収益率の向上を目指しております。

さらに、平成27年3月31日より、健康コーポレーション株式会社の子会社として同社グループに参画することとなりましたが、グループ間シナジーを最大限に発揮するべく、グループ会社との協業活動も開始しており、コスト削減・販路拡大に関する取り組みやノウハウなどの有効活用のための人材交流等を進めております。

当第1四半期連結累計期間においては、コスト削減を優先するため投資を抑制しております。第2四半期以降、業績回復に向けた抜本的な構造改革への投資を実施する予定です。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は1,019百万円、営業損失は11百万円、経常損失は15百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は17百万円となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(衣料品販売事業)

衣料品販売事業におきましては、競争の激化が進む中、当社の強みを活かすため、ターゲット顧客を絞り込み、そこに集中するためのブランド戦略や商品戦略を進めております。また、MD部門の強化によるブランド管理の徹底や、リピーターを増やすための品質強化策も引き続き進めております。しかしながら、棚卸資産評価損の洗替による戻入、広告投資の抑制、人件費等の販売費及び一般管理費の削減効果に伴いセグメント利益は計上しているものの、売上の低迷から脱することができず、業績の回復には至っていない状況であります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の衣料品販売事業の売上高は606百万円、営業利益は22百万円となりました。

(玩具・雑貨販売事業)

玩具・雑貨販売事業におきましては、少子化や消費者ニーズの多様化、円安による原材料価格の高騰という、依然として厳しい環境にはあるものの、主要取引先への販売を中心に、好調に推移しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の玩具・雑貨販売事業の売上高は260百万円、営業利益は1百万円となりました。

(その他事業)

その他事業では、メーカーや小売事業者向けの広告販売事業、他社インターネットモール等への卸売事業及び実店舗事業を行っております。実店舗事業は、オムニチャネル戦略の一環として積極的に進めて参りましたが、想定以上に収益性の低い店舗については、契約期間満了をもって撤退することとし、収益の上がっている店舗のみを継続していくこととしております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間のその他事業の売上高は153百万円、営業損失は35百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べて412百万円減少し、1,377百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が446百万円、受取手形及び売掛金が8百万円減少し、商品及び製品が29百万円増加したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べて17百万円減少し、262百万円となりました。この主な要因は、有形固定資産が4百万円、無形固定資産が12百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ430百万円減少し、1,639百万円となりました。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べて314百万円減少して643百万円となりました。この主な要因は、未払金が220百万円、買掛金が98百万円減少し、1年内返済予定の長期借入金が19百万円増加したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べて99百万円減少して707百万円となりました。この主な要因は、長期借入金が98百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ413百万円減少し、1,351百万円となりました。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて17百万円減少して288百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失を17百万円計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、業績回復のための施策は進行中であり売上の回復には至っておりません。また、第2四半期以降、業績回復に向けた抜本的な構造改革への投資を進めるとともに、売上回復のための広告投資も実施する予定です。以上から、第2四半期（累計）及び通期の連結業績は、平成27年5月12日に公表致しました連結業績予想の通りを見込んでおり、連結業績予想の修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替を行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,077,509	631,336
受取手形及び売掛金	277,729	269,555
商品及び製品	418,714	448,471
その他	16,519	28,129
貸倒引当金	△119	△91
流動資産合計	1,790,354	1,377,400
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	29,039	26,858
工具、器具及び備品(純額)	20,989	18,880
リース資産(純額)	2,000	1,625
有形固定資産合計	52,029	47,364
無形固定資産		
ソフトウェア	175,576	163,256
商標権	3,938	3,810
無形固定資産合計	179,515	167,067
投資その他の資産		
その他	48,452	47,587
投資その他の資産合計	48,452	47,587
固定資産合計	279,996	262,019
資産合計	2,070,350	1,639,419

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	190,096	91,957
1年内返済予定の長期借入金	299,800	319,525
リース債務	1,654	1,668
未払金	400,490	179,902
未払法人税等	13,593	10,312
ポイント引当金	18,541	9,753
賞与引当金	20,049	11,130
事業整理損失引当金	1,246	1,246
返品調整引当金	1,101	1,274
その他	10,709	16,491
流動負債合計	957,282	643,262
固定負債		
長期借入金	805,485	707,110
リース債務	563	141
長期未払金	817	510
固定負債合計	806,865	707,762
負債合計	1,764,147	1,351,024
純資産の部		
株主資本		
資本金	966,585	100,000
資本剰余金	804,960	121,894
利益剰余金	△1,494,223	38,200
株主資本合計	277,321	260,094
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	28,880	28,300
その他の包括利益累計額合計	28,880	28,300
純資産合計	306,202	288,394
負債純資産合計	2,070,350	1,639,419

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成26年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	1,566,356	1,019,845
売上原価	916,924	535,750
売上総利益	649,431	484,094
返品調整引当金戻入額	475	1,101
返品調整引当金繰入額	3,021	1,274
差引売上総利益	646,885	483,921
販売費及び一般管理費	714,540	495,655
営業損失(△)	△67,655	△11,734
営業外収益		
受取利息	61	632
為替差益	—	1,658
受取損害賠償金	108	267
その他	64	88
営業外収益合計	234	2,646
営業外費用		
支払利息	6,438	5,545
為替差損	673	—
その他	882	675
営業外費用合計	7,994	6,220
経常損失(△)	△75,415	△15,308
特別損失		
事業整理損失	4,226	—
減損損失	29,868	—
特別損失合計	34,095	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△109,510	△15,308
法人税、住民税及び事業税	1,521	1,919
法人税等合計	1,521	1,919
四半期純損失(△)	△111,032	△17,227
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△111,032	△17,227

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成26年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純損失(△)	△111,032	△17,227
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	12,263	△580
その他の包括利益合計	12,263	△580
四半期包括利益	△98,768	△17,807
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△98,768	△17,807
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年2月12日の取締役会において、平成27年3月30日開催の臨時株主総会に「資本金の額の減少の件」及び「資本準備金の額の減少の件」について付議することを決議し、当該臨時株主総会において承認可決され、平成27年5月2日にその効力が発生しております。

資本金の減少額	866,585,000円
資本準備金の減少額	804,960,000円

また、平成27年6月29日開催の定時株主総会において、「剰余金の処分の件」について付議し、当該定時株主総会において承認可決され、剰余金を処分し、その他資本剰余金で繰越欠損を補填しております。

その他資本剰余金の減少額	1,549,650,519円
繰越利益剰余金の増加額	1,549,650,519円

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年10月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	衣料品 販売事業	玩具・雑貨 販売事業	その他事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	1,127,543	267,857	170,955	1,566,356	1,566,356
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,127,543	267,857	170,955	1,566,356	1,566,356
セグメント利益又は損失(△)	△37,143	2,640	△33,151	△67,655	△67,655

(注)セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「衣料品販売事業」セグメントにおいて減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は29百万円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	衣料品 販売事業	玩具・雑貨 販売事業	その他事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	606,267	260,178	153,398	1,019,845	1,019,845
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	606,267	260,178	153,398	1,019,845	1,019,845
セグメント利益又は損失(△)	22,517	1,522	△35,774	△11,734	△11,734

(注)セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。